

ことばを大切にするために 1

司馬 博文

2020 年 9 月 29 日

原文 皆さん、受験日が日に日に迫って来ていますね。留学試験の特徴は問題の量が多いということで、まさか時間との戦いと言えるでしょう。例えば、読解問題は 1 分 30 秒で一問を解くのが、よっぽどの実力が無ければ、時間内で、25 問を全部解けるのは無理でしょう。依って、今週のレッスンから、迅速かつ正しく正解を見つけるテクニックを教えながら、練習しましょう。ギリギリながら、点数を出来る限り上げるよう頑張りましょう！

訂正後 皆さん、受験の日が日に日に迫って来ていますね。留学試験の特徴は問題の量が多いということで、まさに時間との戦いと言えるでしょう。例えば、規定時間内でテストを終わらせるために読解問題一問に許された時間は 1 分 30 秒ですが、よっぽどの実力が無ければ、時間内で、25 問を全部解くのは無理でしょう。因って、今週のレッスンから、迅速かつ正しく正解を見つけるテクニックを教えますから、みんな練習しましょう。ギリギリですが、点数を出来る限り上げられるよう頑張りましょう！

- ここでは「受験日が迫る」よりは「受験の日」の方がいい。なぜかは僕も説明できない。例え「東大受験日」と書くつもりでも「東大受験の日」と書くのが良いだろう。しかし、「東大の受験の日」とは書かない。不思議な話である。
- 「まさか時間との戦い」の「まさか」と「まさに」は発音は似ているけど全く意味が違う。「まさに」は漢語の「^{まさ}正に」「^{まさ}応に」から来た言葉、漢字と一緒に覚えるのが良い。
- 「読解問題は 1 分 30 秒で一問を解くのが、よっぽどの実力が無ければ、時間内で、25 問を全部解けるのは無理でしょう」の一文の「**が**」は、主語の後に付く格助詞だが、この「解くのが」がどこに掛かるか探してみて欲しい。見つからないはずだ。せめて「解くのは」が良い。これだと文法的には間違っていないが、次に意味がお

かしい。「読解問題は1分30秒で一問を解かなきゃいけない」のは、試験時間の短さが要請する事実であり、文の後半の「よっぽどの実力が無ければ、時間内で、25問を全部解くのは無理でしょう」にはつながらない。理由になっていないからだ。

- また、「1分30秒」という表記についてだが、数字が1桁の時は全角数字、数字が2桁以上の時は半角数字というのを徹底して欲しい。媽媽の買った教科書の、記述問題の指導に書いてあった。生徒が「1分30秒」なんて書き方をしたら減点されます。だから先生としても気を付けてください。その理由は、論文でそんな書き方をしてはいけないからです。日本留学試験というのは大学・大学院に進学するためにあるものだから、基本的に学問界の慣習 (academic writing) に従います。
- 「全部解けるのは無理でしょう」の「解ける」は能力・可能性（英語の"can"）を指し、「無理でしょう」は不可能（英語の"cannot"）を指す。一つの文章としてとても気持ち悪い。前者の「解ける」の方か、後者の「無理でしょう」の方のどちらか一つしか使えない、2つは共存できない。つまり、「全部解くのは無理だろう」か、「全部解けないでしょう」のどちらかにしないと文法的におかしい。
- 「依って」と書いていたけど、漢字を見て「おかしいな」とは思わなかった？スマホの予測変換に頼らないこと。日本語の接続詞の「よって」には、「因って」「依って」「拠って」の3つがある。媽媽なら、いつどれを使うべきなのか分かるはずだ。こういうところまで注意が回るようになると良いね。
- 「教えながら、練習しましょう」という文を書いたが、教えるのは教師で、練習するのは生徒だから、主語の違う動詞を1つの文の中で使うのは端的に言って言語のセンスがない。自分で読み返して気付けるようになろう。
- 最後の「ながら」の使い方にはセンスを感じる。何を言い表したいかの気持ちは分かるが、やっぱりそれでも此处では使えない。「ギリギリですが、頑張りましょう！」「ギリギリになってしまいましたが、頑張りましょう！」と、他の逆接の接続詞を使うのが良いだろう。
- 「出来る限り上げるよう頑張ろう」は、「上げられるよう」を使う。英語の"can"を意味する助動詞「らる」の連用形を此处に足さないと意味が通らない。